

人を対象とする医学系研究にご協力頂いている皆様へ

本学において、あなたから取得した情報を利用して下記の研究を行います。研究目的と情報の利用は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、この研究は、城西大学人を対象とする医学系研究倫理審査委員会の審査を受け、城西大学学長 白幡 晶の承認を得て行っているものです。

研究課題名：薬局・ドラッグストアに勤める管理栄養士の実態調査

研究対象者の範囲：薬局およびドラッグストアに勤める管理栄養士・栄養士

① 試料・情報の利用目的及び利用方法

1) 研究の目的

超高齢社会となったわが国において、保健・医療・福祉など様々なサービスを包括的・継続的に提供する必要性が生じています。地域の健康を支え、守る環境づくりに努めていくために、行政機関のみならず、企業や民間団体、ボランティア組織などの積極的な参加協力を得るなどしてネットワークを形成し、健康づくり支援体制を整備することが求められています。

国が進める健康日本 21（第2次）においても、地域住民の健康支援・相談対応が受けられる民間団体の活動拠点数の増加が目標に加えられ、その活動拠点の例として薬局が示されています。また、厚生労働省は、2015年に高齢者の低栄養防止・重症化予防への取り組みを開始し、薬局や地域包括支援センター等を活用することや、専門職である管理栄養士や薬剤師、歯科衛生士による相談や指導を推進しています。さらに、2016年には、地域住民による主体的な健康の維持・増進を支援する「健康サポート薬局制度」が開始され、その機能として、地域住民に対する健康相談や健康サポートにつながる多職種連携による糖尿病予防教室や管理栄養士の栄養相談会の開催などが要件に加えられています。さらに、在宅の要介護高齢者や療養者の増加に伴って、食生活の改善や介護食・療養食の適切な提供のために、地域における管理栄養士による栄養ケア活動や訪問栄養食事指導への対応が求められています。

これらのことから、薬局の管理栄養士の社会的ニーズは今後もますます高くなると予想され、近年、薬局・ドラッグストアへの管理栄養士の採用は着実に進んでいます。しかし、現時点では薬局に管理栄養士の配置義務は無く、地域住民から薬局の管理栄養士の存在はほとんど周知されておらず、健康づくり支援者として十分に位置づけられていません。このような背景から、薬局・ドラッグストアの管理栄養士（栄養士）の配置率や活動内容などの詳細は明らかにされていません。

本研究では、薬局管理栄養士研究会の世話人からなる薬局管理栄養士が共同し、全国の薬局・ドラッグストアの管理栄養士の配置状況とその活動の実態を調査し、薬局・ドラッグストアの管理栄養士が地域の健康・栄養支援者として意義ある社会資源であることを示すこと目的とします。

2) 研究期間 2019年 11月 1日 ~ 2021年 3月 31日

② 利用又は提供する試料・情報

提供する資料：アンケート用紙

利用する情報：アンケートから得られた結果

③ 利用する者の範囲（研究を実施する全ての共同研究機関の名称及び研究責任者の氏名）

1) 研究機関名及び研究責任者氏名

城西大学薬学部医療栄養学科予防栄養学研究室 堀 由美子

④ 試料・情報の管理について責任を有する者の所属・氏名

城西大学薬学部医療栄養学科予防栄養学研究室 堀 由美子

⑤ 拒否機会の確保（研究対象者又はその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用又は他の研究機関への提供を停止すること）

本研究の参加者は、問い合わせ先に連絡することによって本研究への参加を拒否することができます。また、研究への参加を拒否されても、不利益等を受けることは一切ありません。

※研究対象者等が研究計画書及び研究方法に関する資料を入手又は閲覧する方法

他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、城西大学薬学部医療栄養学科予防栄養学研究室で研究計画書及び研究方法に関する資料の閲覧を行う事ができます。

[研究対象者等及びその関係者からの相談窓口]

担当者 城西大学薬学部医療栄養学科 予防栄養学講座 堀 由美子

電話 049-271-7207 , メールアドレス holly@josai.ac.jp